

ユースケース名

Trusted Networkによる社会ITインフラの信頼性・強靱性向上の実現

事業者名

アラクサネットワークス株式会社

事業概要

日々サイバー攻撃を受けている社会インフラや企業のITインフラを、より安心・安全なものにするために、サプライチェーン上および導入後の運用において、製品が信用できる状態にあるかどうかを常に確認するオープンな仕組み「Trusted Network」を実現します。

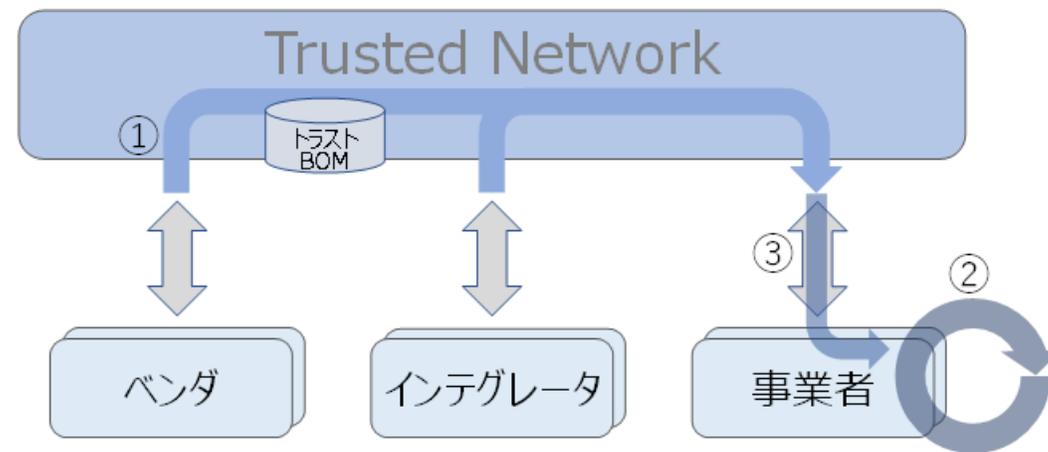
Trusted Networkは、

- ・ITインフラ利用者（事業者）やインテグレータに対して、IT製品を調達する際に意図しない改ざんや脆弱性が無いかなどの製品信頼情報（トラストBOMと呼ぶ）を安全に提供
- ・事業者が製品信頼情報をもとにITインフラの導入および運用において継続的に信頼性の検証を可能とする

製品信頼情報の提供、流通においては、

- ・ハードウェアやソフトウェアの部品・構成など、ベンダ・インテグレータ・事業者にとって、機微な情報を含むため、情報が改ざん又は漏洩されること無く記録、共有する
- ・データ自体の信頼性を確保するため、データ提供者によるRoot of Trust（信頼の証明書）も合わせて提供する

従来はこのような合意形成を実現するためには多大なコストが発生し、更に合意形成の検証と信頼性が事業者のナレッジベースに依存する傾向があるが、オープンなTrusted Networkの提供により、既に一部顕在化している社会課題を業種や事業者、ベンダやインテグレータ横断でワンストップで解消することを目指す。



- ① サプライチェーンリスク管理 (Supply Chain Risk Management)
- ② 運用中の継続的なリスク可視化と、変化への対処 (Continuous Risk Scoring and Action)
- ③ ①と②の有機的連携